

第36回神奈川県高等学校 放送アンデパンダン大会

日 時 平成13年11月11日(日) 午前9:00～

会 場 神奈川県立神奈川総合高校

主 催 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

主 管 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会校内放送委員会



マイクが「ほこんじ」についていふ
の2. 発声をちゃんとするよ、

日 程

9:00～ 9:30	総合受付・著作権処理	多目的ホール前ホワイエ
	全総文祭作品受付	多目的ホール奥ミーティングルーム
9:10	審査員集合	4F 第2会議室
9:10～ 9:40	作品提出	各審査会場
10:00～	審査開始	昼食休憩は各会場で決める
(10:00～10:40)	DJ部門リハーサル	
16:00～	閉会式	多目的ホール

スタンバイミー

Stand by me

閉 会 式

閉会式 16:00(予定)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 司会 | 武笠 くみ |
| 県立相模田名 | |
| 1. 開会のことば | |
| アンデパンダン大会実行副委員長 | |
| 県立追浜 | 西内 優貴 |
| 2. 放送アンデパンダン大会実行委員長あいさつ | |
| 県立大師高等学校 | 新名 啓子 |
| 3. 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会会長あいさつ | |
| 県立厚木南高等学校長 | 五十嵐 勲 |
| 4. 審査結果発表・表彰 | |
| アンデパンダン大会実行委員長 | |
| 県立大師高等学校 | 新名 啓子 |
| 5. 閉会のことば | |
| アンデパンダン大会実行副委員長 | |
| 県立追浜 | 西内 優貴 |

第36回神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 使用学習室一覧

【顧問】

- 本部 … 会議室(中央棟2F)
- 顧問控室 … 会議室(中央棟2F)

【生徒・一般】

- 総合受付 … 多目的ホール前ホワイエ(体育館棟1F)
- 著作権処理受付 … 多目的ホール前ホワイエ奥(体育館棟1F)

- ◎全総文祭作品受付 … 多目的ホール奥ミーティングルーム(体育館棟1F)
全総文祭生徒委員会 小会議室(体育館棟2F)

- 閉会式会場 … 多目的ホール(体育館棟1F)
- 委員校／役員校控室 … 書道学習室(中央棟4F)
- 生徒審査員控室 … 第2会議室(中央棟4F)
- 集計室 … コンピューター室(中央棟6F)
- 発声練習場 … 講義室(中央棟8F)
- 生徒控室 … 507学習室・506学習室(中央棟5F)
705学習室・706学習室・707学習室(中央棟7F)

【審査会場】

- アナウンス … 801学習室(中央棟8F)
- 朗読 A … 701学習室(中央棟7F)
- 朗読 B … 704学習室(中央棟7F)
- 報道・文芸 … 501学習室(中央棟5F)
- D J … 508学習室(中央棟5F)
- 放送劇 A … 503学習室(中央棟5F)
- 放送劇 B … 505学習室(中央棟5F)

第36回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 委員校・役員校 業務分担

<役員校>

- ・県立追浜 ・県立金井 ・県立神奈川工業 ・日大藤沢
- ・県立新城 ・県立大師 ・県立相模田名 ・県立大船工業技術

<委員校>

○横浜

- ・県立鶴見 ・県立瀬谷西 ・県立神奈川総合 ・捜真女学校 ・市立南

○川崎・横須賀・三浦

- ・県立多摩 ・県立柿生 ・県立茅ヶ崎

○北相・西相

- ・県立座間 ・相模女子 ・東海大相模

<業務分担>

- 受付 県立金井・県立追浜
- 集計 県立新城・県立大師・県立大船技術
- 掲示 県立神奈川工業
- 閉会式 日大藤沢

<審査補助>

- アナウンス 県立瀬谷西・捜真女学校
- 朗読 A 県立柿生
- 朗読 B 県立鶴見
- 報道・文芸 相模女子
- D J 東海大相模
- 放送劇 A 県立多摩
- 朗読 B 県立座間

2

第36回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 実 施 要 領

1. **目的**：生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。

2. 主催・主管

【アンデパンダン大会】

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会

3. **日時**：2001年11月11日(日)9:00～17:00

4. **会場**：県立神奈川総合高等学校

5. 参加資格

2001年10月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学し校内放送に携わっている放送部・委員会の生徒であること。

ただし、参加できるのは1、2年生とし、審査員説明会と大会当日、審査員を出さない学校は参加資格がないものとする。審査員は1名以上とし、3年生でもよい。 ※DJ部門のみ3年生の参加も可とする。(2000年度より)

6. 部門・参加本数・参加費用

【アンデパンダン大会】

	アナ	朗読	報道	DJ	文芸	放送劇
参加本数	5人	5人	2本	1本	1本	1本
参加費用	1作品／1本毎 1000円					

7. 表彰

アナウンス・朗読：各会場1～6位 番組制作：各会場1～4位

8. 審査

参加校各1名以上の生徒が審査にあたる。

9. 審査基準、方法

- ①高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
- ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④詳細については、審査員および大会実行委員長の協議による。最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。

11. 大会当日の受付

①受付 9:00～9:30

受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して封筒・スクリプト(2部)・テープに記入する。番組部門は著作権処理受付で、支払い等を必ずする。

②封筒提出 9:10～9:40(時間厳守)

記入を終えた作品封筒を、各審査会場に各自持参し、審査補助係に提出する。

12. アンデパンダン大会諸規定(抜粋)

A アナウンス部門諸規定

①内容:自校のニュースや解説など高校生活を語る若者の声を内容とし原稿は自作したものに限る。原稿と実際のアナウンスに相違があってはならない。

②時間:1分10秒～1分30秒。 番号、学校名、氏名を含む。

③計時:最初の声から最後の声までとする。

B 朗読部門諸規定

①内容:次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。作品の脚色は認めない。原稿と実際の朗読に相違があってはならない。

1 森 鷗外「高瀬舟」(新潮文庫) 2 妹尾河童「少年H」(新潮文庫)

3 塩野七生「イタリアからの手紙」(新潮文庫)

4 スティーブン・キング「スタンド・バイ・ミー」(新潮文庫)

5 紀 貫之「土佐日記」 * ()内の出版社に限る。

②時間:1分30秒～2分00秒。番号、学校名、氏名、作者名、作品名を含む。

③計時:最初の声から最後の声までとする。

C 番組制作部門諸規定

①種類と時間:

文 芸:9分20秒～10分00秒 録音D J:9分20秒～10分00秒

(注意)回転誤差がありうるため9分40秒程度で制作することが望ましい。

報 道:6分30秒～7分00秒 放 送 劇:15:00秒以内

②内容:生徒自らの創作に限る。文芸に含まれる作品は次のような作品とする。

ア)劇形式を主としないもの。イ)ナレーションが中心となるもの。

ウ)創作で朗読形式をとるもの。

③制作者:3年生の協力も事情によっては認めるが、その場合はスクリプトの末尾に学年・氏名・係(役)を明記すること。

④使用テープ:ア)往復録音時間30～60分のカセットテープを使用。

イ)A面のみに録音。B面は消去。 ※テープの種類は問わない。

⑤録音・再生:ア)左右両チャンネルに同じ音を録音する。

イ)審査は、モノラル、ノーマルポジション、ノンノイズリダクション

で再生して行なう。

ウ)録音はリーダーテープの直後から始め、最後にクレジットコールを

入れる。

⑥計時:

ア)審査補助係が、テープがリーダーテープ直後になっていることを確認し、デッキに入れて、ポーズ状態にする。

イ)ポーズ解除をし、計時は第一音からクレジットコールの最後までとする。

ウ)クレジットコール終了とともに再生を終える。

⑧著作権処理について

17 著作権処理についてをよく読んで、適切に処理すること。

D 生DJ番組部門諸規定

①種類と時間

生DJ : 10分00秒以内(セッティング時間を含む)

②内容:生徒自らの創作に限る。最低3曲以上の楽曲を使用すること。

③制作者・出場者:4名までの出場を認める。3年生の参加も可とする。

ただし、当日アナウンス・朗読部門に出場する生徒は出場できない。

④計時:生DJ 審査補助係のコールに続く審査員のキューにより計時をスタートさせ、出場校はセッティングを開始し、そのまま番組を始める。最後のクレジットコール終了時に計時をストップする。

⑤規格:

i 音源: CDのみ ステレオ再生 (複製音源(CD-Rなど)使用不可)

ii 使用機材: CDデッキ3台・マイク2本・ミキサー1台

iii Qシート: 番組の進行の大まかな流れを説明するQシートを作成し、2部提出する。用紙はA4、記入の内容は自由。

⑥リハーサル: 同じ機材を用いて10分以内で行うことができる。

14. スクリプトに関する規定

①神奈川県高等学校視聴覚教育研究会で作成した原稿用紙を、原則使用する。

②作品1本(1人)について2部提出する。

③第48回NHK杯全国高校放送コンテストの様式規定に従って作成する。

☆アナウンス・朗読→様式規定1 (市販B5版400字詰め縦書き原稿用紙も可)

☆番組→様式規定3 ☆生DJ→形式は自由(A4用紙を使用する)

15. その他

上記以外の規定については、第48回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

16. 諸注意

①閉会式終了後、スクリプト・テープ等を返却するので必ず受け取ること。

②大会当日の運営に関することは、すべて顧問を通して本部に申し出ること。

③ゴミは会場校に残さず各自で自宅に持ち帰ること。

第36回神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 役員一覧

1 実行委員

実行委員長 :	新名 啓子	県立大師高校
実行副委員長:	内田 陽	県立大船工業技術高校
実行副委員長:	山瀬 雄介	県立神奈川工業高校
実行副委員長:	武笠 くみ	県立相模田名高校
実行副委員長:	西内 優貴	県立追浜高校
実行副委員長:	倉迫 万梨	県立新城高校
実行副委員長:	飯田 早苗	県立金井高校
実行副委員長:	中野 英之	私立日本大学藤沢高校
前実行委員長:	米村 和彦	県立平塚江南高等学校

2 補助教員

畠山 純一	県立追浜
中津川 雅則	県立平塚江南
根岸 富男	県立金井
後藤 宗治	県立神奈川工業
海沼 茂男	日本大学藤沢
石川 岩夫	県立相模田名
金子 英樹	県立大船工業技術
木幡 悦子	県立新城
小林 正英	県立大師

第36回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会
審 査 の 観 点

アナウンス

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 原稿に関する項目を30点、アナウンスの技術に関する項目を70点とする。

3原稿

・素材の選び方 ・文章表現の確かさ ・内容の深さ

4アナウンスの技術

・マイクの使い方 ・発声及び発音 ・アクセント ・プロミネンス
・イントネーション・テンポ ・ポーズ

②審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
2. 元気があって明るいのはよいが、いわゆるコンテスト調(歌い上げる調子のもの)に高い評価をしない。
3. 自然で張りのある若々しいアナウンスを高く評価する。

朗 読

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 原稿に関する項目を30点、朗読の技術に関する項目を70点とする。
3. 原稿・作品の選び方・朗読部分の抜き出し方

4. 朗読の技術

・マイクの使い方・発声及び発音 ・アクセント ・プロミネンス ・イントネーション
・テンポ ・ポーズ ・内容の把握 ・表現の仕方

②審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
2. 作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
3. 自然で、深みがある朗読を高く評価する。

報 道

①配点と観点

1. 点数は、100点法とする。
2. テーマ点を50点、制作技術点を50点とする。
3. テーマ点(50点)

- a. テーマをよく捉え、見事に表現している (50点)
 - b. テーマにふさわしい (40点)
 - c. テーマにふさわしいが、いま一步 (30点)
 - d. テーマがややずれている (20点)
 - e. テーマにふさわしくない (10点)
4. 制作技術点(50点)
- (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集 (5) 技術(録音技術、アナウンスやナレーション技術、音楽や効果音の使い方等)
 - a. 特に優れている (50点) b. 優れている (40点)
 - c. 普通である (30点) d. やや劣る (20点)
 - e. はなはだしく劣る(10点)
- ②審査上の留意点
1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
 2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直したものでないかどうか。
 3. 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

文芸 - 放送劇

- ①配点と観点
1. 点数は、100点法とする。
 2. テーマ点を50点、制作技術点を50点とする。
 3. テーマ点(50点)
 テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。
 - a. すばらしいできればである (50点)
 - b. 良く出来た内容である (40点)
 - c. 内容はよいが、いま一步 (30点)
 - d. 平凡でおもしろくない (20点)
 - e. もう少し勉強してみても (10点)
 4. 制作技術点(50点)及び留意点②はは報道部門に同じ

D J

- ①配点と観点
1. 点数は、100点法とする。
 2. テーマ点を50点、制作技術点を50点とする。
 3. テーマ点(50点)
表現したいテーマに対し適切な素材を選び、効果的に表現しているか。
 - a. すばらしいできればである (50点)
 - b. 良く出来た内容である (40点)
 - c. 内容はよいが、いま一步 (30点)
 - d. 平凡でおもしろくない (20点)
 - e. もう少し勉強してみても (10点)
 4. 制作・技術点(50点)及び留意点②は報道部門に同じ

審査員一覧

アナウンス部門

学校名	氏名	学年
県立有馬	塚本 耕平	3
県立横浜翠嵐	神村 絵織	2
県立横浜日野	永田 陽祐	2
市立川崎商業	遠藤 貴彬	2
私立法政大学女子	藤田 悠海子	3

朗読部門A会場

学校名	氏名	学年
県立茅ヶ崎	磯崎 真理	2
私立富士見丘	杉浦 裕可	3
県立相模田名	荒木 早未	3
私立相洋	足立 智統	2
県立元石川	猪俣 美菜	1

朗読部門B会場

学校名	氏名	学年
県立相模田名	庄司 佳代	3
県立相模田名	谷口 友美	3
県立足柄	諏訪 理恵	3
私立日大藤沢	中野 英之	2
私立富士見丘	佐藤 麻里	3

DJ部門

学校名	氏名	学年
私立横須賀学院	多田 聡	3
県立横須賀	山口 修	2
県立神奈川工業	中平 慎一郎	3
県立神奈川総合	杉山 暹	3
県立大師	伊藤 愛子	3

報道・文芸部門

学校名	氏名	学年
私立法政大学第二	矢島 健太郎	3
私立向上	高橋 卓	3
県立希望ヶ丘	壇田 由美	2
私立日本大学	二井谷 真輝	2
県立永谷	鳥巢 佑香	2

放送劇部門A会場

学校名	氏名	学年
県立大和西	大槻 亮輔	3
県立相模大野	後藤 佑太	2
県立市ヶ尾	本田 菜穂	2
県立六ツ川	松川 裕子	2
私立麻布大学附属淵野辺	平本 篤	3

放送劇部門B会場

学校名	氏名	学年
県立海老名	森田 垂紀	3
県立平塚江南	原 佑介	3
私立麻布大学附属淵野辺	清田 知郎	3
県立大和東	上村 朋代	2
市立金沢高校	深田 智得	2

第36回神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 エントリー一覧

アナウンス部門

//30"

No.	学校名	氏名	学年
1	県立神奈川総合	子安 由利子	1
2	県立瀬谷西	新井 明絵	2
3	私立法政女子	宇治橋 美穂	1
4	県立平塚江南	橋本 真喜子	1
5	県立大和東	藤堂 幸	2
6	私立富士見丘	沖久 真節	1
7	県立大和西	山口 朋美	2
8	県立希望ヶ丘	山田 優希子	1
9	私立法政大学第二	林 聡	2
10	県立大和西	中尾 美佳	2
11	私立捜真女学校	飯田 沙織	1
12	県立有馬	芥藤 真純	2
13	県立希望ヶ丘	片山 綾香	1
14	県立元石川	土屋 玲奈	2
15	県立六ツ川	長澤 由輝子	1
16	私立法政大学第二	安齋 晃	2
17	県立足柄	豊田 正義	2
18	県立大和東	小林 竜太	1
19	県立大師	伊藤 健太郎	2
20	県立永谷	大貫 優一	1
21	県立大師	新名 啓子	2
22	私立日大藤沢	和田 寛也	2
23	県立大和東	石岡 利紗	2
24	県立横浜日野	深澤 慎也	2
25	私立法政大学女子	高瀬 真理	2
26	県立横浜翠嵐	佐藤 陽平	1
27	県立平塚江南	萬 智恵子	2
28	県立多摩	納 美保子	2
29	私立法政大学第二	増島 一成	2

No.	学校名	氏名	学年
30	県立元石川	城所 友美	2
31	県立追浜	鈴木 美陽子	2
32	県立大和東	佐々木 舞	1
33	県立六ツ川	石田 菜奈	2
34	県立有馬	永瀬 真実	1
35	県立永谷	児玉 修平	1
36	県立六ツ川	片倉 ちあき	2
37	県立大師	伊藤 真愛子	1
38	私立捜真女学校高等学部	中川 茜乃	2
39	県立六ツ川	徳永 悟深	1
40	県立横浜翠嵐	白木 優香	2
41	県立市ヶ尾	新保 優子	1
42	私立富士見丘	江尻 綾子	2
43	県立鶴見	山本 直子	2
44	県立横浜翠嵐	喜納 彬光	1
45	私立法政大学第二	福寿 直樹	2
46	県立座間	千葉 さゆり	1
47	県立市ヶ尾	朝倉 光代	1
48	県立座間	梅村 美樹	2
49	県立有馬	小菅 綾	2
50	県立瀬谷西	中島 尚子	2
51	県立多摩	山崎 江里子	1
52	県立金沢	三谷 薫	2
53	県立有馬	渡辺 翼	1
54	県立六ツ川	佐藤 裕子	2
55	私立日大藤沢	中野 英之	2
56	県立横浜翠嵐	熊沢 倫之	1
57	私立富士見丘	後藤 央子	2
58	私立横須賀学院	赤荻 匠	2

13
11.30

801

14
3
-

1. 江村おるが
2. 三井おるが

4 - 柳
4 = 45082
4 山

③ おるが 655

701 2'00

朗読部門A会場

No.	学校名	氏名	学年
1	私立捜真	細井 沙友里	1
2	県立大和西	小林 晶	1
3	県立瀬谷西	五島 加奈子	2
4	私立富士見丘	浅沼 友佳理	1
5	私立向上	船渡川 優香	1
6	私立日大藤沢	柳川 信亮	2
7	県立海老名	大森 佐恵子	1
8	県立六ツ川	山本 麻由子	1
9	県立金井	永井 将悟	2
10	私立相洋	岩瀬 佑馬	1
11	県立平塚江南	田島 典明	1
12	私立法政第二	田上 詩音	1
13	市立金沢	木村 南津子	2
14	県立大和東	星上 尚子	1
15	私立法政第二	田中 彬浩	2
16	私立法政女子	山口 麻衣子	2
17	県立横浜翠嵐	結城 伸樹	1
18	県立多摩	小野 みな美	1
19	県立横浜日野	加藤 祐美	2
20	県立座間	渡邊 正健	1
21	県立大和東	福田 健	2
22	県立永谷	和田 昌久	1
23	県立六ツ川	日置 秀馬	2
24	県立大師	高橋 恵美	1
25	県立足柄	安田 光子	2
26	県立元石川	柄澤 惟代	2
27	私立法政女子	佐藤 まりの	1
28	県立多摩	菊井 友美	2
29	県立市が尾	後藤 裕美子	2
30	県立追浜	酒井 絢子	2
31	県立相模大野	本田 優里子	2
32	県立神奈川総合	原田 朋美	1
33	県立鶴見	星 久美子	2
34	県立神奈川工業	芳賀 誉幸	1
35	県立座間	石川 正也	1
36	県立鶴見	持丸 愛	2
37	県立大和西	内野 憲人	1
38	県立神奈川工業	須藤 江里子	2
39	県立海老名	釘貫 聖子	2
40	私立富士見丘	小川 美弥子	1
41	県立追浜	佐久間 珠理	2
42	市立金沢	松本 美那海	1
43	県立瀬谷西	佐藤 美久	2
44	県立神奈川工業	竹本 愛理	2
45	県立相模田名	吉田 里美	1
46	県立神奈川総合	高島 一葉	2
47	県立平塚江南	水流 里美	1
48	私立向上	中村 早紀	1
49	県立大和東	立岩 麻衣	1
50	県立座間	古田 島 太一	1
51	県立瀬谷西	原本 珠璃亜	2
52	県立神奈川総合	西端 悠	1
53	県立希望ヶ丘	米山 智子	2
54	私立法政女子	雑賀 朋子	1
55	県立金井	高瀬 弘基	2
56	私立相洋	三木 淳子	1

704

早川

後半50分

朗読部門B会場

No.	学校名	氏名	学年
1	私立法政第二	加藤 拓	2
2	私立向上	中村 隆之	1
3	県立鶴見	烏田 雄輔	2
4	県立平塚江南	原 育子	1
5	県立足柄	片岡 友美	2
6	私立法政女子	池ヶ谷 恵里	1
7	県立追浜	内ヶ谷 優貴	2
8	私立相洋	吉田 優	1
9	県立大和東	来住 洋輔	1
10	川崎市立商業	岩澤 亜沙美	2
11	県立希望ヶ丘	岩原 由実	1
12	県立相模大野	鶴岡 裕司	2
13	県立座間	山田 恵美	1
14	市立金沢	鈴木 春菜	2
15	県立市が尾	元木 珠美	1
16	県立鶴見	東川 智美	2
17	県立相模田名	黒川 未来	1
18	私立日大藤沢	栗田 雅之	1
19	県立金井	森下 沙希	1
20	県立多摩	小河内 麻衣	1
21	県立瀬谷西	樹田 慶子	2
22	県立座間	落合 香織	1
23	県立元石川	前田 菜都美	1
24	県立六ツ川	田島 真吾	1
25	県立平塚江南	上野 純一	1
26	県立瀬谷西	伊木 良太	1
27	県立横浜翠嵐	清水 祐子	1
28	県立永谷	清水 亜美	1
29	県立足柄	伊藤 洋子	1
30	県立大和西	岡 瑞穂	2
31	私立法政女子	宮崎 真実	1
32	私立麻布大付属淵野辺	横溝 健一	2
33	私立富士見丘	柏原 宏美	1
34	私立法政第二	堂田 啓祐	2
35	県立大和東	小峰 かおり	1
36	県立横浜翠嵐	木村 咲子	1
37	市立金沢	臼居 順子	1
38	県立六ツ川	稲葉 由香	2
39	県立神奈川総合	下條 永美子	1
40	県立横浜日野	荒木 光	2
41	県立有馬	清水 亜砂美	1
42	県立横須賀	中田 千秋	2
43	私立相洋	茂木 雅代	1
44	県立鶴見	加藤 史森	2
45	県立多摩	坂本 遼哉	2
46	県立横浜翠嵐	吉崎 功二	1
47	私立東海大学付属相模	竹内 まゆ	1
48	県立神奈川工業	桑 恵子	2
49	県立大和西	筒井 彩乃	1
50	県立平塚江南	小原木 沙織	2
51	県立神奈川総合	荒川 瑞穂	2
52	私立向上	星野 真実	1
53	県立大師	富樫 美香	2
54	県立金井	平野 賢治	1
55	県立元石川	島山 千春	1

7/10 報道部門

No.	学校名	氏名	学年
1	県立追浜	根岸 美佳	2
2	私立東海大学相模	石橋 知佳	2
3	私立法政大学第二	鳥居 紀彦	2
4	私立法政大学第二	安齋 晃	2
5	県立六ツ川	金井 美樹	2
6	県立希望ヶ丘	増田 由美	2
7	県立多摩	石井 花奈	2
8	県立平塚江南	橋本 真喜子	1
9	私立法政女子	高瀬 真里	2
10	私立日本大学	宇田川 ゆうじ	2

501(前)

10/5 DJ部門

No.	学校名	氏名	学年
1	県立鶴見	村手 香織	2生
2	県立大和西	星 真理	1生
3	県立追浜	安田 理絵	2生
4	私立横須賀学院	関 和仁	1録
5	私立法政大学第二	増島 一成	2録
6	県立多摩	中野 可愛	1録
7	私立日本大学	瓦井 忍	2録
8	県立六ツ川	徳永 悟深	1録
9	私立日本大学藤沢	関 雄一	2録
10	県立新城	川崎 奈央	1録

DJ

1 放送劇部門A会場

No.	学校名	氏名	学年
1	私立東海大学付属相模	土田 ひとみ	1
2	県立大師	富樫 美香	2
3	県立金井	平野 賢治	1
4	県立茅ヶ崎	磯崎 真理	2
5	県立神奈川工業	平井 大輔	1
6	県立市ヶ尾	本田 菜穂	2
7	私立麻布大付鳳洲野辺	横溝 健一	2
8	私立法政大学第二	田上 詩音	1
9	県立追浜	安田 理絵	2
10	県立平塚江南	田島 典明	1
11	県立鶴見	高村 真代	2
12	私立日本大学	瓦井 忍	2

放送劇部門B会場

No.	学校名	氏名	学年
1	県立海老名	安西 望	2
2	県立相模田名	吉田 美里	1
3	県立足柄	片岡 友実	2
4	県立多摩	岡庭 智彦	2
5	県立大和西	小林 晶	1
6	県立相模大野	後藤 佑太	2
7	県立横須賀	山口 修	2
8	県立有馬	小菅 綾	2
9	県立神奈川総合	高島 一葉	2
10	県立六ツ川	小島 明日香	2
11	県立元石川	柄澤 惟代	2

10/5 文芸部門

No.	学校名	氏名	学年
1	私立東海大学相模	野寺 由紀	2
2	県立多摩	石井 花奈	2
3	県立足柄	豊田 正義	2
4	県立追浜	佐久間 珠理	2
5	私立法政大学第二	安齋 晃	2
6	県立金井	森下 紗希	1
7	県立六ツ川	松川 裕子	2

501(後)

10 石井(501)
11 高井(501)
12 山崎(801)
13 坂本(504)

第36回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会 参加校一覧

	アナ	朗読	報道	DJ	文芸	放送劇	合計
県立神奈川工業		4				1	5
県立横浜翠嵐	4	4					8
県立横浜日野	1	2					3
県立市が尾	2	2				1	5
県立金井		4			1	1	6
県立瀬谷西	2	5					7
県立永谷	2	2					4
県立六ツ川	5	4	1	1	1	1	13
県立神奈川総合	1	5				1	7
横浜市立金沢	1	4					5
私立富士見ヶ丘	3	3					6
私立捜真女学校高等部	2	1					3
私立法政大学女子	2	5	1				8
私立日本大学			1	1		1	3
県立希望ヶ丘	2	2	1				5
県立元石川	2	3				1	6
県立鶴見	1	5		1		1	8
横浜地区合計17校							
県立多摩	2	4	1	1	1	1	10
県立新城				1			1
県立大師	3	2				1	6
市立川崎商業		1					1
私立法政大学第二	4	4	2	1	1	1	13
川崎地区合計5校							
県立横須賀		1				1	2
県立追浜	1	3	1	1	1	1	8
私立横須賀	1			1			2
横須賀・三浦地区3校							
県立平塚江南	2	5	1			1	9
県立大船工業技術							0
私立日本大学藤沢	2	2		1			5
県立茅ヶ崎						1	1
湘南地区合計4校							
県立座間	2	5					7
県立海老名		1				1	2
県立大和東	4	5					9
県立有馬	4	1				1	6
県立相模大野		2				1	3
県立相模田名		2				1	3
県立相模女子大高等部							0
私立東海大付属相模		1	1		1	1	4
私立向上		4					4
県立足柄	1	4			1	1	7
私立相洋		4					4
県立大和西	2	4		1		1	8
私立麻布大淵野辺							0
北相・西相地区合計13校		1				1	2
総合計42校	58	111	10	10	7	23	219

諸注意

- * 立ち入り禁止区域には絶対に入らない、教室の私物には手を触れないなど、会場校に迷惑がかからないよう行動してください。
- * 9階・10階は立ち入り禁止です。
- * 審査中は静かにしてください。
- * 作品・スクリプトの提出は各会場で行います。提出時間を厳守してください。
著作権処理は多目的ホール前ホワイエ奥で行います。
- * 総合文化祭参加作品の提出は多目的ホール奥ミーティングルームで行います。
- * 放送台本・テープは出場1名、1作品ごとに封筒に入れ、必要事項を記入して提出してください。
- * 指定場所以外での練習は禁止です。(特に屋外では×、指定場所でも窓を開けると全館に響きますので開放厳禁です)
- * 5階、7階のフリー・スペースには机・椅子がありますが、会話が廊下に響きますので注意してください。
- * ゴミは持ち帰りをお願いします。
- * 多目的ホール、講義室、は飲食および飲食物の持ち込みは禁止です。
- * 閉会式終了後、スクリプト・テープ等を返却するので必ず受け取ること。
- * その他、大会当日の運営に関することは、すべて顧問を通して本部に申し出ること。